

瀬戸内タウンミーティング議事録（邑久地区）

平成 24 年 11 月 9 日（金）午後 7 時～午後 9 時
瀬戸内市役所 大会議室

参加者：男性 10 人、女性 3 人、計 13 人

意見交換

- ・下水道について。合併浄化槽をすでに設置されている方がある程度かたまっているところなどは配慮してほしい。ぜひ住民の意見を最大限取り入れていただいて考えていっていただければと思う。

（市長）合併浄化槽をしているからいらないという方はたくさんおられる。これからは、すでに合併浄化槽を設置されている集落は、下水道を引く必要はない。下水道がいつているところは接続していただくのが法律上は義務だが、多少は柔軟に対応している。

- ・公立病院は、赤字のところほとんど。新しい病院を建ててペイできるのか。そもそも、赤字が出ているのに職員のボーナスが出るのもおかしい。西大寺に行けば病院はあるのに、なぜ建てる必要があるのか。市民病院の職員の雰囲気も良くない。

（市長）民間の医療機関の考え方だと、入院患者が少なければベッド数が減る可能性がある。何でもかんでも民間に出せばいいという話にはならない。東日本大震災があり、やはり公的な病院というのは必要と思うようになった。また、民間の病院を呼び込むにしても、たくさんの病院にあたってみたが、建てる場所からやってくれるようなところはないので、建設自体は市がやる必要がある。アンケートでも、3分の1くらいの方は病院はいらないというご意見で、岡山市内に行けばいいから病院はいらない、ということであれば別だが、病院のないまちで発展は難しい。あまりに赤字が多ければ、市民の皆さんからの税金をただ投入することになる。税金の持ち出しを極力減らさなければならぬ。最近、病院の職員の雰囲気が変わったというご意見もいただくようになった。より質の高い医療をめざすために、将来軌道にのってくれば、独立行政法人化を行いたい。今年、状況を見ると、外来は順調に伸びている。良い先生も来てくれているので、その先生にかかりたいということで、増えているのだと思う。入院は、やはり建物も古いので、皆さんなかなか入院したいと思ってくれないという部分もある。しかし、最近、70

床くらいは埋まるようになっている。

- ・私は、やはり西大寺まで行けば病院があるのだから、なければなくてもいいと思う。そして、公立病院は、仕事の仕方がだらだらしている。極端に言えば、赤字が出ればボーナスが出ない、というくらいにしなければいけない。

(市長) 市役所には基本的にはボーナスはなく、期末手当ということで、年間の給与がそのときに配分される仕組み。民間の場合は、儲ければ、その儲かった部分で給料が上がることもあるが、国や地方公共団体はそうではない。

- ・しかし、公務員の給与は人事院勧告でしか下がらない。

(市長) 瀬戸内市は他市に比べても低い。

- ・中小企業が低いのは当たり前。小さい市は入ってくる額が少ないのだから、給与も低くて当然。

- ・人件費はずっと一律。普通の民間ではそれはありえない。

- ・他の市でも市長が職員の給与を公開していたが、瀬戸内市でも公開すれば、市民はびっくりするくらいもらっていると思う。

(市長) 給料に見合った働きをするようにしっかりやっていきたい。

- ・福祉のことを今のペースで増やしていったら、これから高齢者も増えるし、どんどんいくらかでも予算は増える。もっと、予防などに真剣に取り組んでいかなければならない。

(市長) おっしゃるとおり、高齢者の方は増える。今のままの水準を維持しながらどのようにやっていけるのか、検討していきたい。

- ・長船にも福祉関係のたくさんの課があるが、すべての人が満足するようにしようとするれば、いくらでもお金がかかる。

(市長) 具体的な案があればまた教えていただきたい。

- ・税収について、当面の間は大丈夫という話だが、5年先、10年先がどうなるかわからないような状況。今までこうしてきたから使えばいいというのではなしに、もっと真摯に考えていかなければ破綻する。

(市長) 毎年、10年先のことまでを考えていっている。10年先には、7億円足りなくなるという計算で、税金が入れば残せる部分もあるが、将来を楽観するのではなく、引き続き見直しを行っていきたい。

- ・行政サービスを受けるのは、税金の範囲内というのが当たり前で、市民も、それ以上のサービスを受けたいと思うのは間違い。

(市長) 市民の皆さんに、がまんしていただくところをどうやってがまんしていただくかが課題。

- ・不登校児童数が多い。小学校は県内で一番。市役所も、教育関係は牛窓、福祉関係は長船、というのも、現役世代は車に乗れるが、高齢者などはできない。これからは、どこの支所に行っても、どの手続きもできるようにしてほしい。

(市長) どの部署も一カ所に持ってくるというのが理想かもしれないが、それでは牛窓・長船の皆さんの利便性が下がる。1階の窓口については、教育委員会は一度にはできないが、福祉関係も一カ所でできるよう平成25年度から改善する予定である。

- ・市役所で書類を出そうとしても、いや牛窓に、と言われることが実際にある。

(市長) そのあたりの見直しも、来年に向けて行っていく予定である。

- ・市の事業は利益を生んでではだめなのか。

(市長) 利益を生んでもいいものと、民業圧迫になってしまい、できないものがある。

- ・下水道の管の中に、中国電力の管やNTTの光ファイバーなどを入れて、使用料をとれないのか。

(市長) 以前、岡山市でやっていたが、今はやめている。光ファイバーなども、下水道が来るまで待って、というのは難しい。また、都市部では、共同溝を掘るというやり方はあるが、人口が密集している土地ではできても、瀬戸内市では難しい。

- ・同じ掘るのであれば、一度にやった方が良いのではないか。

(市長) 掘るよりも、地上を引いた方が金額は安い。ただし、できるところについては、掘り返す回数を少なくするような工夫をしていきたい。例えば、宮下団地に誘致した企業については、水道のパイプと一緒に大阪ガスのパイプを引く予定である。

- ・テレビで、CDなどのレンタルショップと一緒に図書館を運営していくというのを見た。そういったやり方はできないのか。今の図書館は、閲覧室もない。

(市長) 民間委託や指定管理については、検討はしたが、図書館は、民間に出すのはなじまない施設と考えている。お金をもらって収益を得る事業については、民間に入ってもらうのも良いが、図書館は使用料などが発生せず、民間に入ってもらっても利益が出ないため撤退するような場合も考えられる。その場合、経営のノウハウを持った人材がいなくなり、一からやり直して、かえって高くつくようなことも考えられる。中身がないものは「ハコモノ行政」と言われる。業者に丸投げするのではなしに、中身のつまった図書館にしていきたい。

- ・岡山の県立図書館などは、新聞を読むスペースなどにお年寄りの方もたくさんおられる。そういう使い方をしてもらえるのであれば良いと思う。

(市長) 閲覧スペースや、飲食もある程度できるようにして、皆さんが集まり、一日ずっと居て楽しむことができるような図書館にしたいと考えている。

- ・錦海塩田跡地にメガソーラーをするのは非常にいいことと思う。排水や堤防の管理は今後どのようなようになるのか。市がやはりやらないといけないのか。400ヘクタールはメガソーラー、残り100ヘクタールについては、たとえばグラウンドゴルフ場など、市民の憩いの場にしたら良いのではないか。

(市長) 堤防の管理は、できれば国や県にやっていただきたいとは思っているが、国や県が管理を行うには、市のために堤防を守るというのではなく、より多くの方のために、というのでなければできない。排水ポンプは、市がやり続けていかなければならないと考えている。ただし、ポンプを動かすのに、年間1,000万円はかかる。土地の賃借料などをすべて市民の皆さんに還元するのではなく、ポンプを動かす費用などにもまわさなければならない。メガソーラーは、まだ、事業者から提案をいただいたところで、まだ市から市民の皆さんにお示しできる段階ではない。グラウンドゴルフ場については、整備しようと思うと2~3億円かかる。ある程度の利用者数は見込めるので維持管理費用は使用料などでまかなえるかもしれないが、整備費用をかけて新たに市が整備するのが適正かどうかという話は当然出てくるだろう。

- ・美作市がグラウンドゴルフ場を作っているが、なでしこが来たら駐車場にして活用されている。

(市長) 作ったら、維持管理費がずっとかかってくる。作るのと同じくらいみておかなければいけない。

- ・高校生ならばフットサル場を作ってほしいとか、年代によって、違った要望も出てくると思う。

- ・災害が来た場合の避難場所について。邑久地区は平野部で、大人数が避難できるような高台がない。

(市長) 避難所については、来年度本格的に見直しする予定。水が来たら実際に地域の中でどう行動するのかなど、住んでいる皆さんにも考えてもらいたい。

- ・自衛隊が来て大々的に訓練をするよりも、地域の方がどう避難するのかといった訓練をした方が良いのではないか。

(市長) 今やっているのは、地域の方に実際に集まっていただいて、地図を見ていただいたり実際のまちを歩いていただいたりして、災害が起きたらどう

するのかを考えていただくような訓練をやっている。

・**病院と図書館は何かの特化した図書館、病院にしてほしい。**

(市長) 病院は、健康づくりと福祉と医療が一カ所で受けられるような地域包括ケアを売りにしたいと考えている。図書館については、情報がいろいろ入ってくる・出ていくところとして、新しい物を吸収しながらしっかりと考えていきたい。

・**タウンミーティングは、資料はないのか。あった方が良かった。今日の結果は、広報などで公開されるのか。**

(市長) タウンミーティングでは、現在の市の状況などをお話しもするが、市民の皆さんからさまざまなご意見をいただく方に重きを置いている。それぞれの地区でいただいたご意見は、担当課に伝え、できるかどうか検討していくことにしている。広報紙は、スペースに限りがあるため全部を掲載することはできないので、ホームページでお知らせする予定である。